

## 認知症ケア

当事者理解を基本に、パーソンセンタードケアやバリデーション、タクティールケアなどの新しいケアについてや、レビー小体型認知症や若年性認知症など、原疾患別の病理や特性とその専門的ケアについての研修を行ってきました。



## ターミナルケア

終末期にどう寄り添うか、基にある「死生観」について色々な価値観に触れ、援助者自身の「死生観」を見つめて直してみました。さらにはスピリチュアル・ペイン（霊的痛み）、フィジカル・ペイン（身体的痛み）それぞれのケアや、看取る為の社会資源や看護・介護の連携方法、看取り後のグリーフケアについて学んできました。



## 技術研修

移動・移乗介助、排泄・保清など、技術の基本から、看護・医療との連携に不可欠な医療行為である吸引、カテーテル、褥瘡ケア、また失語症ケア、PCを使用したコミュニケーション法から傾聴技法、更にはクレーム活用、リスク管理、SV技法、プランニング研修、研修担当者研修、管理者・経営者のための倫理やマネジメントの研修等、キャリアや職域に幅広く対応した技術研修を行いました。



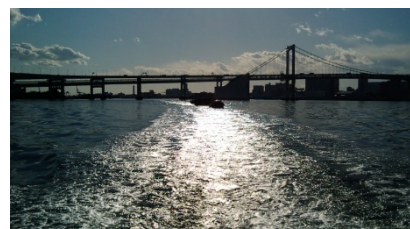
## 関連分野

在宅専門医の視点から見た介護現場についての研修や、異業種から学ぶ接遇研修、理学療法士、作業療法士、看護師、精神保健福祉士や臨床心理職、産業カウンセラー、社会保険労務士等、連携を取っていく周辺分野の専門職を講師に招いて視野を広げる研修を行いました。



## 従事者の為のヘルスケア

対人援助を基本とした介護業務は「感情・精神労働」でもあります。従事者自身の「こころ」を良い状態にすることも、よいケアにつながります。ここでは自身のこころの状態を心理的アプローチで深める研修やお互いにケアしていく研修、また事業所や会社の組織としてケアする「ライン・ケア」の研修をすることで個人・組織共によりよいケアをできる環境を整えます。



今後もその他、現場で必要とされる研修を随時盛り込んでいきます。